

業 種	海事（旅客フェリー）
取組分野	(7)事故、ヒヤリ・ハット情報等の収集・活用 (12)継続的改善
テ ー マ	旅客暴露甲板へのデッキ出口での転倒事故の防止 <工夫した出入り口の滑り止めシート>
取組の狙い	船内転倒事故の再発、未然防止
具体的内容	<p>1. 背景</p> <p>(1) 旅客が関係する船内事故が増加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 27 年度は前年度と比較して、乗客の船内事故件数が倍増した。 ・主な原因として、新造船の就航などに伴う利用客の大幅な増加を想定。 <p>(2) 新造船での旅客転倒事故</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 27 年 9 月、就航後 2 年未満の新造船において、女性の利用客がデッキの出入り口で転倒し、手首を骨折する事故が発生。 ・直接的な原因は、スマホを操作しながら旅客室から船外のデッキに出た際に足元が滑って転倒したことによるもの。 ・デッキ出入り口の床は滑り止めの加工がなされていたが、スマホの操作に意識が集中し、出入り口が傾斜していること、濡れて足元が滑りやすくなっていることに気が付かなかったことが根本要因と推察。 <p>2. 対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従来より、船内での事故を未然に防ぐため、 <ul style="list-style-type: none"> ✓乗組員による船内点検やヒヤリ・ハット情報の収集、 ✓利用客からのアンケート を実施してきており、濡れたデッキに出る際の危険性は、ヒヤリ・ハットや船内点検等で従来から危惧されていたところ。 ・同様の事故の再発防止の観点から、携帯やスマホを操作しながらでも、目に入りやすい、遠近法を用いた視覚的な図に文字による注意喚起案内を加えたデザインを営業企画課で考案し、デッキ面に掲示することとした。
取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・作成したデザインの掲示方法を、滑り止めの付いたグリップシートに印刷したものをデッキ出入り口スロープに貼り付けることとしたことによる物理的転倒防止効果とも相まって、以降デッキ出入り口での転倒事故の発生はなく、その効果をあげている。



事業者名

阪九フェリー株式会社 担当：営業企画課